

New students, welcome to LAC!

2nd and 3rd year LAC students and teachers are willing to help you! Exciting events such as English Camp and the study trip to JICA are waiting for you. So what is your goal this year?

新学年が始まり、意欲に満ちた今、目標はありますか？ぜひ「英検などの検定試験に挑戦」しましょう！3年夏までに英検2級を取っておきましょう！

英検2級以上の資格は大学受験に大変有利です。これまで関西学院大など多くの大学のAO入試などで合格につながりました。まず問題集を購入し、問題形式に慣れましょう。申し込み手続きは、各自でコンビニやインターネット、書店で行ってください。一次合格者の二次試験対策は、学校で7月に行います。

実用英語検定	第1回	第2回	第3回
受付期間	3/9～5/11	8/1～9/14	11/30～12/26
一次試験	6/3(日)	10/7(日)	1/27(日)
二次試験	7/8(日)	11/11(日)	3/3(日)

GTEC for Students(Reading/Listening/Writing)+Speaking Test とは？

1年生は全員、2年生 LAC は7月と3月に GTEC を校内で受検する予定です。3年生 LAC は6月16日(土) 全員公式スコア受検をします。成績は点数と Grade 1～7 で示され、詳しい分析結果を活用すれば、2回目からスキルの伸びが実感できます。昨年の成績優秀者は Grade 7 (710以上) は3名、Grade 6 (610～709) は27名でした。英検同様、高スコアは進学に有利です。

Message from Teachers LAC 担任と特色事業推進部 (LAC 行事に関わる部)

❖ 1年7組 LAC 担任 (Fujiwara Mizuyo) この4月に宝塚西高校に転任しました。まだまだ慣れないことだらけですが、1年7組のみなさんと一緒に、頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。LAC では日々の授業や様々な行事を通して、英語力を鍛える機会が多くあります。たくさん覚えてたくさん使って、せっかくの機会を最大限に活かしましょう！

❖ 2年7組 LAC 担任 (Uemoto Yoshiyuki) 趣味は英語学習とスノーボード、特技は剣道(四段)と弓道(四段)です。英語をマスターするには「圧倒的な練習量」しかありません。日々の授業に真面目に取り組むことは勿論、暇がある時には口に出して英語を使いましょう。その過程で失敗はつきものですが、気にしてはいけません。「達人」と呼ばれる人たちは、成功の数以上の「失敗」を経験しています。”Don't be afraid of making mistakes.”を合言葉に、「一緒に」英語を学んでいきましょう！

❖ 3年7組 LAC 担任 (Waki Masako) 日本文化研究部「雅」の顧問をしています。LAC の皆さんには英語を通して世界の様々なことに興味を持ち、また同時に日本の文化を世界に発信できる人材になってほしいと願っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

❖ 特色事業推進部長 (Ito Chihiro) 宝塚西高校の特色って何？国際教育ですよ。特色事業推進部というのは、国際社会で活躍できる人材を育成するための様々な事業を企画・推進していく部署です。また、広報活動も担当しています。校外で頑張っている西高生の姿を中学生やその保護者、地域の方々に伝えていきます。カメラを持って現場に行きますので、笑顔で撮らせて下さいね。

❖ 国際教育担当 (Takata Keiko) 留学の派遣、受け入れのお手伝いをしています。マウントガンビア高校との交流をはじめ、様々な国際交流のプログラムに積極的に参加して、視野を広げ、大きく成長してほしいと思います。よろしくお願いいたします。

✚LAC コース長 (Kagawa Kyoko) 宝塚西高 LAC と関わって 5 年目です。LAC の魅力がもっとみんなに伝わるように努めたいと思います。一緒に語学の授業にしっかり取り組み、国際感覚を養うための授業や行事を大切に、そして新しいことにもチャレンジ！1 年生の皆さん、アレックス先生、メナカ先生に挨拶して話しかけることも第一歩。Smile and say hello!

✚広報・総務担当 (Murasaki Yoko) 発展英語と 3 年総合 (英作文) で LAC クラスを担当します。高校生活しめくくりの年、各自の目標に向かって頑張る皆さんをしっかり応援しますので、最後まで頑張りましょう！

春休み活動報告① “The 2nd Global Leaders’ Camp” (3-7 Ogawa Miru)



2 回目のグローバル・リーダー育成キャンプに参加して、プレゼン発表を完成させるという目標を達成するために努力するとともに様々な事を学んだ。まず、一緒にプレゼンを作った仲間、一緒にオリエンテーションをした仲間との出会いだ。プレゼンは夜 11 時頃まで最後の仕上げをしていたため、仲間との協力は重要だった。この事は将来、チームで何かを作り出す時に必要な力を養うことができたと思う。また、ALT が話す言葉は全て英語なので、当然リスニング能力は鍛えられたと思う。実際、このキャンプに参加する前は、テストや模試等で聴きづらかった会話形式の問題はかなり聴きやすくなったと思う。メインのプレゼンは「どうすれば魅力的に話を聞いてもらえるか」から始まり、プレゼンのパワーポイントをどう作るかというのも学ぶことができた。今回は 2 日目に本番があったので、準備期間は短かったが、僕たちのチームは全員が早めに動いたおかげで、3 位に入賞することができた。テーマは「SNS を安全に使用するためにはどうすればよいか」で、親や先生か言われるのではなく、生徒自ら啓発活動をやっていくべきであるという結論に達した。このキャンプに参加しようと思っている皆さんに、このキャンプにおいて大切な事を伝えたい。これは、「能動的に動くこと」だ。例えば、「プレゼンのテーマをどうするか」というのを決める時に、早く動かないといけないということだ。他の班の中には、キャンプが終わった時に、まだ決まっていなかった班もあったという。ALT と話す時も、自分から話さないと「全然楽しくなかった」と思って帰ることになってしまうと思う。

活動報告② “National High-School Future Conference” (3-7 Serina Asada)



見学活動場所：衆議院議員会館、首相公邸、国会議事堂見学、Google Japan 訪問など

Last month, I participated in a program called the “National High-School Future Conference.”

It is a program to encourage high school students to think about what Japanese politics should be like in the future through discussion between politicians and talented teenagers.

I cannot describe what I did in those 3 days without mentioning all the people I met throughout this program. I got to meet so many inspiring people including high-school students, politicians working in Parliament, and young activists who are working hard for what they believe in. They come from a variety of different backgrounds (like those from a boy who won 3rd place in a rap tournament, to a girl who studied abroad with financial support from the government) and have something that they can be passionate about. Listening to their stories really encouraged me to know and think more about politics and international relations, and also encouraged me to try more things to broaden my mind. Talking about those people I met, we had an impressive and unexpected reunion with those who had participated in HSD (高校生外交官交流), which was great as well. I can't help but believe that this world is small although it looks gigantic! Through these experiences, I realized that politics should create a society that leaves no one behind, and high school students have the power to change the world. I'll treasure these memories and do what I can do.

「全国高校生未来会議」に参加して、日本全国の仲間と日本の未来を語り合った三日間は私の宝物となりました。私はもともと政治に関心があったわけではなく、日本国内の政治への理解の欠如を改善したいとか、視野や考えを構築したいと思ってこの会議に応募したのがほんの数日前に感じます。様々なバックグラウンドや考えを持った人との関わりは、自分がいかに狭い視野を持っていたのかを痛感させられました。今回、私は意識的に多くの人と多くの関わりを持って話すように心がけました。この会議では国会議員の方と意見交換をする機会が多数ありました。各政党を代表する議員の方々が私たちのために演説し、質問にも真摯に答えてくださいました。様々な立場からの主張に触れて政治を身近なものとして捉えられるようになりました。最終日には、私たち自身もグループで話し合い、将来の日本を作っていくプランを「地域政党を立ち上げた」と仮定して作成しプレゼンテーションをしました。ほぼ徹夜で完成させて、最終的には優秀賞をいただきました。この会議に参加している高校生には、起業に向けて準備している人、自分の声を社会に訴えようと努力している人、本当に尊敬できる仲間がたくさんいました。こんな若者が全国にいれば、この閉鎖感漂う現代も変えられると確信しました。私たち高校生にも日本を変えていく力があるのだと再認識させられました。この全国高校生未来会議で得た経験や皆さんからもらったエネルギーを糧に comfort zone(ぬるま湯)から抜け出して、より多くの活動に参加し自分を高めていきます。」

活動報告③ "Global Enterprise Challenge 2018" (3-7 Asada Serina)

私は去年の夏に出会った全国の高校生外交官の仲間と東京で再会し、チームを組んでこの大会(GEC)に挑みました。社会貢献×ビジネスという非常に難しい課題でしたが最終的には、自動運転で走行できる検査キット付きのキャラバンを開発し、国を相手にその商品をビジネスとして展開していくプランを作成しました。正しい答がない問題に対して、解決策を創造していく作業には想像を絶する困難さと同じくらいの興奮がありました。また、社会の一員として必要とされる能力が何であるかを実感しました。与えられた課題に対して、アイデアを出し合い、それがビジネスとして成立するのかの吟味や、将来的な事業収支の算出、英語でのビジネス計画書の作成、プレゼンテーションの編集等が求められました。これらのことは一人の力で達成することが不可能(制限時間的にも、能力的にも)で、仲間との協力が不可欠です。私たちは全員様々な目標がありこのコンテストに参加していました。例えば、英語力を向上させたい、将来の企業に向けてビジネスの知識を身につけたい、問題解決する能力を育みたい等…。そんな多様なメンバーが集った私たちのグループ全員に共通していたものは、何か一つの課題に打ちこんで、それを解決しようとすることに楽しさを見出すことができる姿勢だったように思います。GECでは改めて仲間と協力することの重要性、楽しさを再認識しました。限られた時間で、最善のアイデアを考えて組み立てるという状況は、実際の起業により近いのではないかと思います。将来、会社の経営やベンチャーの立ち上げに興味があるという方はぜひ参加を検討してみてください。GECは仲間との絆を深められたり、英語力の向上につながったりととても参加する価値のあるビジネスコンテストです。この時期は受験勉強に入

る頃ということもあり余裕がないかもしれません。しかし、この大会をきっかけにビジネスに興味を持ち進路変更をした人、英語を使用する楽しさを実感し、海外大学への進学を決めた人など GEC に参加し人生が大きく変わった人が何人もいます。また LAC の皆さんも GEC に参加して学校生活で得ることの出来ない経験をしてくれることを期待します。

(参考) コンテストの課題 : Your challenge is to develop an innovative business idea to achieve one of this Sustainable Development Goal 3' s targets(国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 3」の指標) - “By 2030, end preventable deaths of newborns and children under 5 years of age, with all countries aiming to reduce neonatal mortality to at least as low as 12 per 1,000 live births and under- 5 mortality to at least as low as 25 per 1,000 live births.” (新生児や乳幼児の死亡率の大幅削減) You will present your business plan to a panel of venture funders who are interested in investing in social enterprises that aim to solve these problems using the latest but available technology.